

# 大分大学教育学部 附属教育実践総合センター

〒870-0819 大分市王子新町 1-1

電話: [097]543-4933

FAX: [097]543-4936

電子メール: jissenc@oita-u.ac.jp

## チーム学校のための教育臨床セミナー【第9期】のご案内

大分大学教育学部附属教育実践総合センター（発達教育臨床部門）では、平成30年度より、学校教員だけでなく、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーも対象に「チーム学校」のための教育臨床セミナーを開催しております。

このセミナーでは、学校における心理的・発達的な問題への対応を集団の中の個の理解および集団の理解などから考えていきます。またアドバンスドコースでは、より実践的な学びを目指して実践検討、もしくは事例検討等を行います。いずれも、少人数制で、活発な意見交換やディスカッションを交えつつ、ともに学ぶことのできる貴重な時間になるものと期待しています。ぜひご参加ください。

対象者：幼稚園、保育園、子ども園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校などの現役教員、保育士、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー

参加費：無料

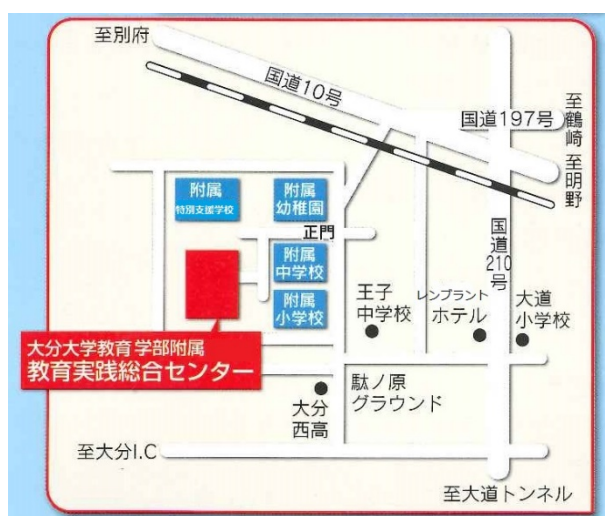
場所：教育実践総合センター（大分大学王子キャンパス）多目的演習室

日時：原則として毎月第3水曜日（2月のみ第4水曜日）、18時～20時

定員：15名程度（お申し込み多数の場合はおことわりする場合があります）

申し込み：メール（jissenc@oita-u.ac.jp）により、件名「教育臨床セミナー-2019申し込み」にてお申し込みください。その際は、お名前、ご所属、連絡先、参加希望コース（ベーシックのみ、またはアドバンスドも）をお知らせください。申し込み〆切は5月8日です。

ご注意：原則として、すべての回に参加できる方を募集します（1回ごとの申し込みはできません）。また、アドバンスドコースのみの参加は受け付けておりません。



### 【問い合わせ】

大分大学教育学部

附属教育実践総合センター

電話 (097) 543-4933

FAX (097) 543-4936

Mail : jissenc@oita-u.ac.jp

## 【講師紹介】

佐藤晋治：教育実践総合センター教授。大分県スクールカウンセラー。臨床心理士・学校心理士。そだちやまなびの困難（LD, ADHD, ASD など）の理解と支援を専門とする。

高山美津子：教育実践総合センター非常勤講師。大分市スクールソーシャルワーカー。学校心理士・学校カウンセラー。大分市教育相談所主幹、大分市小学校校長などを歴任。

青柳 俊：大分大学教育学部附属特別支援学校教諭

嶋田麻貴：大分市立植田小学校教諭。教育実践総合センター平成26年度客員研究員。

渡辺耕平：大分県立別府支援学校鶴見校教諭。教育実践総合センター平成26年度客員研究員。

## 【スケジュールと内容】

### ▼ベーシックコース（内容は変更される場合があります）

第1回 5月15日（水）18-20時 担当：佐藤 晋治	「あなたも私も大事！！：人間関係スキルアップ講座」 相手も自分も大切にすることを人間関係スキルアップ講座の実際を体験しながら、見ていきます。
第2回 6月19日（水）18-20時 担当：渡辺 耕平	「障害のある人も幸せに暮らすための学校でのICT活用： できるをいかに取り組み」 特別支援学校でもタブレットを中心としたICT活用が進んできています。現在特別支援学校（肢体不自由）で取り組んでいるICT活用やiPadを中心とした機器や機能の紹介、スイッチを使っての主体的な取り組みを紹介します
第3回 7月17日（水）18-20時 担当：高山 美津子	「学校現場における今日的課題（1）：不登校を考える」 不登校についてはこれまでも様々な対応を行ってきていますが、増加傾向にあり、喫緊の教育課題です。ここでは、不登校の理解と対応に関する基礎知識と、不登校の今日的特徴と関わりについて、子どもたちの声や事例を通して一緒に考えていきます。
第4回 8月21日（水）18-20時 担当：青柳 俊	「障がいのある人たちのスポーツを知ろう！」 スポーツを通じた障がいの理解とインクルーシブ教育の実現のきっかけ作りを体験的に学びます。
第5回 9月18日（水）18-20時 担当：高山 美津子	「学校現場における今日的課題（2）：学級の荒れを考える」 授業中に立ち歩く、私語をやめない、教師に対しての暴言等、小学校で授業が成立しなくなる、いわゆる「学級崩壊」が広がっています。また学級崩壊したクラスを平穏な状態に戻すのは困難とされ、教師は疲弊しています。ここでは「学級崩壊」の原因と対応について考えていきます。
第6回 10月16日（水）18-20時 担当：嶋田 麻貴	「みんなが元気になるケース会議」 困っている子どもの支援を、担任一人で抱えこまず、学校全体がチームとなって支援していくための効率的・効果的なケース会議の進め方を考えていきます。
第7回 11月20日（水）18-20時 担当：高山 美津子	「学級集団づくり：Q-Uと学級経営」 Q-U(QUESTIONNAIRE—UTILITIES:楽しい学校生活を送るためのアンケート)とそれを活用した学級集団づくりについて、解説します。その後、参加者からの実践事例をもとにQ-Uの結果の分析と学級全体への支援方法を参加者で検討します。
第8回 12月18日（水）18-20時 担当：佐藤 晋治	「得意な認知処理を生かしたアプローチ：長所活用型指導」 学習面や行動面、生活面などに困難を示す子どもの背景を認知処理という視点から見えていきます。そしてその子の得意な認知処理を活用した指導法について演習します。

### ▼アドバンスドコース

第1回 1月15日（水）18-20時	「事例検討」もしくは「実践検討」 教育臨床的な関わりを学ぶためにもっとも重要なことは「事例検討」「実践検討」である。それにより、理論は実践に下るされ、実践により理論の学びが深まると言える。また、事例や実践の検討を通じて、援助のための新たな視点がえられたり、援助者として取り組むべき課題について示唆がえられたりすることも少なくない。 このコースでは、参加者から各回1事例もしくは1実践を提示してもらい、ディスカッションを行う。一方向的な指導ではなく、双方向的な検討の中で、徐々に子ども理解が深まっていく醍醐味を経験してもらいたい。  助言：佐藤晋治・高山美津子
第2回 2月26日（水）18-20時	
第3回 3月18日（水）18-20時	